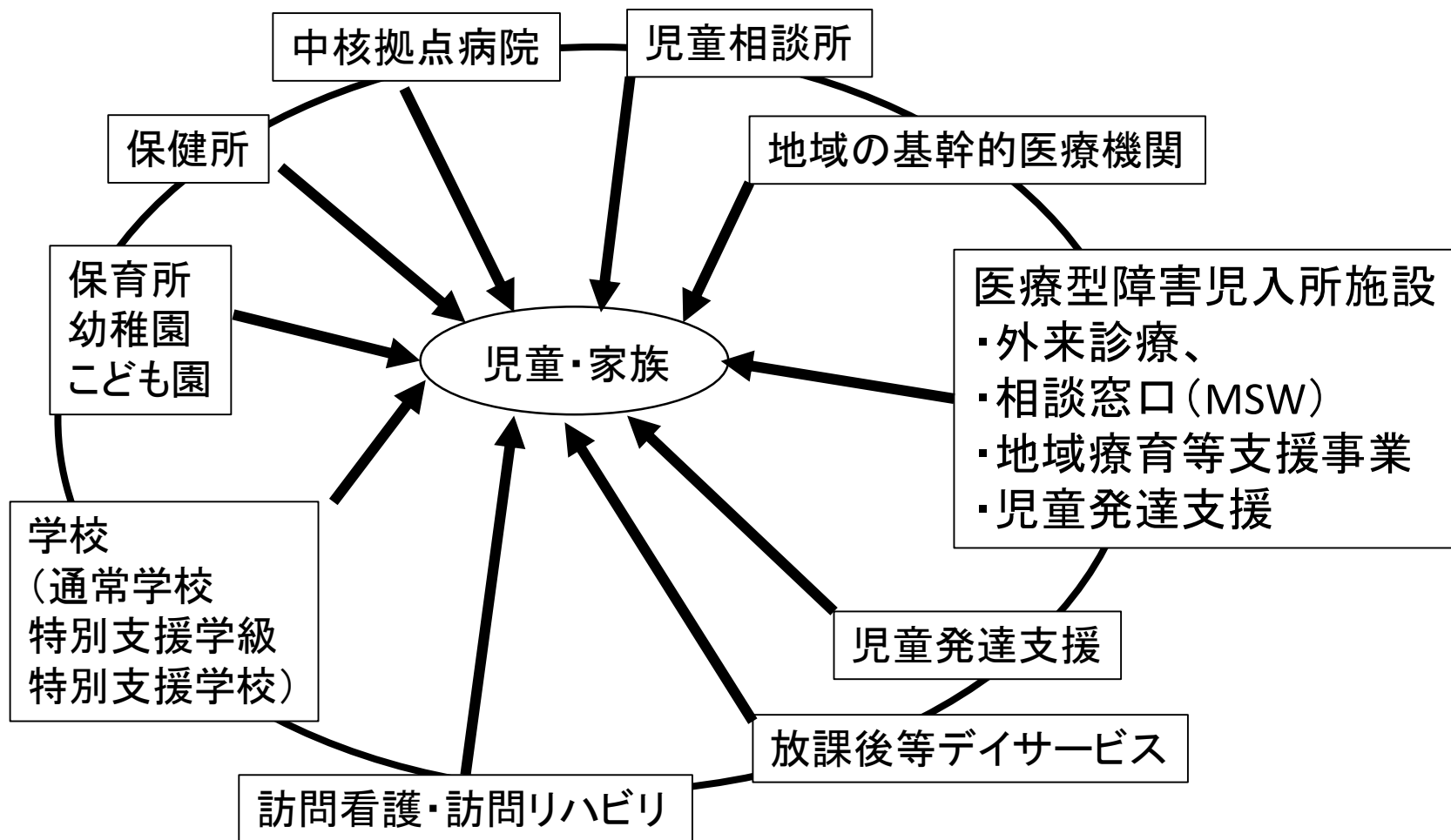


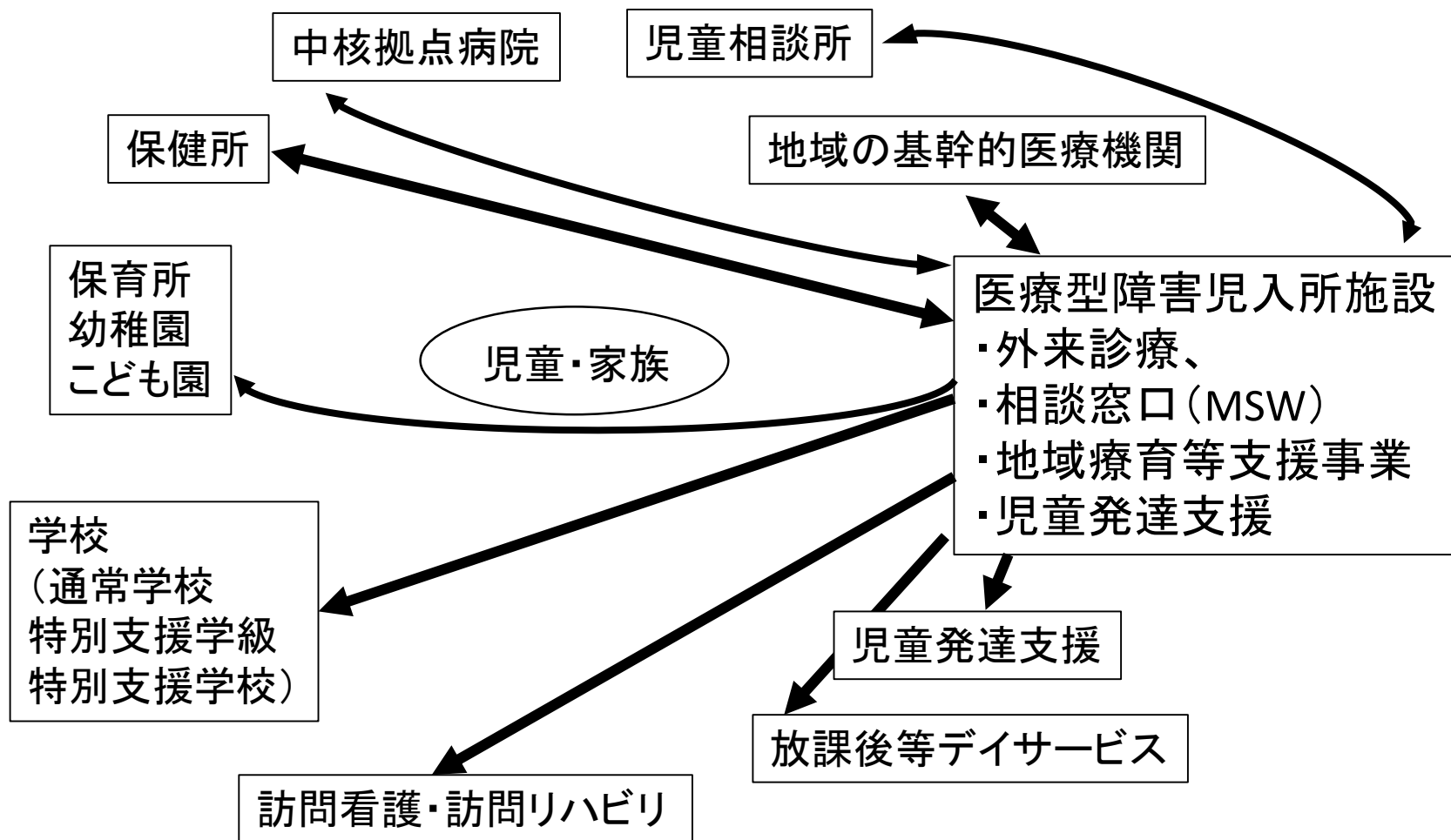
# 地域療育支援について

全国肢体不自由児施設運営協議会

# 地域療育支援体制における 医療型障害児入所施設の役割(連携体制の例)



# 地域療育支援体制における 医療型障害児入所施設の役割(技術的支援の例)



# 地域療育等支援事業実施状況(旧肢体不自由児施設)

## 地域療育等支援事業

### I.療育等支援施設事業

支援施設 指定の 有無	在宅支援訪問療育等 指導事業		在宅支援外来 療育等相談  事業実施件数	地域生活支援事業				施設支援 一般相談  事業実施 件数
	巡回相談 件数	訪問健康 診断件数		登録人数 (有りの場合)	家庭訪問 件数	電話相談 件数	来所相談 件数	
26	3,634 件	1,516 件	15,803 件	69 人	704 件	2,402 件	1,478 件	1,771 件
平均	139.8 件	58.3 件	607.8 件	34.5 人	27.1 件	92.4 件	56.8 件	68.1 件

調査対象56施設

# 地域療育等支援事業実施状況(旧肢体不自由児施設)

## 地域療育等支援事業 Ⅱ.療育拠点施設事業

拠点施設 指定の 有無	施設支援専門 指導事業の 開催回数	在宅支援専門 療育相談事業 の実施件数
11	493回	1,481件
平均	44.8回	134.6件

調査対象56施設

# 障害児通所支援事業(旧児童デイサービス)の実施状況 (旧肢体不自由児施設56施設中)

サービス実施施設 38 (送迎有 15)  
(利用定員合計 1109名  
1日あたり利用定員合計 897名)

運営形態内訳	施設数
児童発達支援センター	29
(内福祉型有)	13
保育所等訪問支援	12

# 障害児通所支援事業(旧児童デイサービス)の実施状況 (旧肢体不自由児施設56施設中)

## 実施人員体制(平均値)

常勤 8.3 非常勤 2.8

指導員 1.4 保育士 4.8 その他 4.5

## 規模別利用状況(平均値) (名/日)

定員(名) ~10 6.2

11~20 14.3

21~ 26.3

# (事例1) 地域療育施設への小児リハビリテーション研修会実施を通じた多施設連携

- ・肢体不自由児に対する理学療法や作業療法等のリハビリテーションを行う社会資源が不足している地域の医療機関に、地域の中核的療育施設の専門職員を定期的に派遣
- ・肢体不自由児への地域療育支援を行うことにより、地域医療機関のリハビリテーション技術を高め、療育技術の移転を図る

## 【支援内容】

- ア 実施医療機関が肢体不自由児に行うリハビリテーションに関する技術的支援
- イ 実施医療機関職員に対する研修等の実施
- ウ 関係機関との連絡調整
- エ 個別相談に対する助言
- オ その他



## (事例2)小児リハビリテーション研修事業

・交通インフラが未整備で、通院通園が困難な利用者に対するサービス

巡回回療育相談 頻度が少なく不満あり

身近なところで、必要な診療、訓練及び相談が受けられる体制の整備を目的

・隔週の3週間(5日間/1週)プログラム。

① 全日程受講(9名程度)

② 選択研修:本研修を未受講者で希望講義・実習のみ選択して受講(若干名)

③ リフレッシュ研修:本研修を既受講者で希望講義。実習のみ選択して受講(若干名)

・フォローアップとして 地域に出向いてのケース検討

## (事例3) 県内療育施設の合同カンファレンス

施設を超えたチームで毎月1回定期的に合同カンファレンスを開催

6施設から、小児科医、整形外科医、リハ医、PT、OT、担当看護師、  
患児と家族が参加

### 【合同カンファレンスのコンセプト】

治療方針について協議は多職種メンバーが自由に発言。

治療法が本人や両親の必要性や期待に合致するか検討。

症例のゴールを設定し共通の認識を得て、手術目的を明確にする。

定期的な術後症例検討会や研究発表の実施。